

福島小だより

学校通信

めざす児童像：考える子 やさしい子 元気な子
第4号 令和5年7月1日



甘楽町立福島小学校
校長 新井 綱人

～地域の力に支えられています～

日に日に暑さが厳しさを増し、夏本番を迎えようとしています。

6月は、ボランティアの皆様による読み聞かせをはじめとして、PTA廃品回収や2年生の町探検では、地域の皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。

そのほか、町社会福祉協議会の協力による福祉体験学習、富岡警察署の協力による情報モラル講習会や万引き防止教室、ハーローワーク富岡の協力によるキャリア教育特別授業など、地域機関の御協力により、子どもたちは貴重な学びの機会をいただきました。

「子どもたちにこんな学びの機会を与えたい」といったの地域のお声をぜひ学校へお寄せください。よろしく願いいたします。

OPTA廃品回収

6月17日(土)に、PTA主催の廃品回収を行いました。地域の皆様やPTA会員の皆様には、早朝から、各地区の集荷場所へ資源物の搬入や学校への搬入等で大変お世話になり、ありがとうございました。

今回は全戸を個別に訪問して回収する方法ではなく、各地区の集荷場所から学校へ搬入する方法で実施をさせていただきましたが、大きな混乱もなく短時間で無事に終わることが出来ました。

収益金163,638円は、子どもたちの教育活動のために使わせていただきます。当日は5・6年生の児童も大勢参加をし、環境学習の視点からも、良い体験となりました。

次回は11月18日(土)を予定しています。



読み聞かせ月間

6月の毎週水曜日の朝、ボランティアの皆様が各学年に分かれ、読み聞かせをしてくださいました。6年生では戦争を題材とした紙芝居を読んでいただくこともありました。日頃から読書に慣れ親しんでいる福島小の児童ですが、読み聞かせは特別な時間です。



福祉体験学習

4年総合的な学習の時間で、「わたしたちのユニバーサルデザイン計画」というテーマのもと、甘楽町社会福祉協議会の御協力により、車いす体験と高齢者疑似体験をしました。

車いす体験では、「いすを推すスピードの調整が難しかったです。」「一人でこぐのが難しかったです。」といった児童の感想がありました。

高齢者疑似体験では、「高齢者が階段をのぼる時や物を取る時が大変なんだと気づきました。」「おばあちゃんや体が不自由な人たちは、こんなに大変な生活をしているなんて、すごく大変だなんて思いました。」といった児童の感想がありました。

